

# 認知症ケア医療介護連携体制の構築事業 R4年度実績報告

---

三重大学医学部附属病院 認知症センター

## ◇目的

三重県もの忘れネットワークにおける多職種間の連携・協働を進めるために、「認知症ケアの医療介護連携体制構築事業（令和4年度）」の中で、各地域で病診連携、医福連携を展開していくための基盤整備を行うことを目的とし、同時に「みえる手帳」の普及啓発活動を進めました。

## ◇対象者

三重県内のモデル地区在住で、認知症の疑いのある方

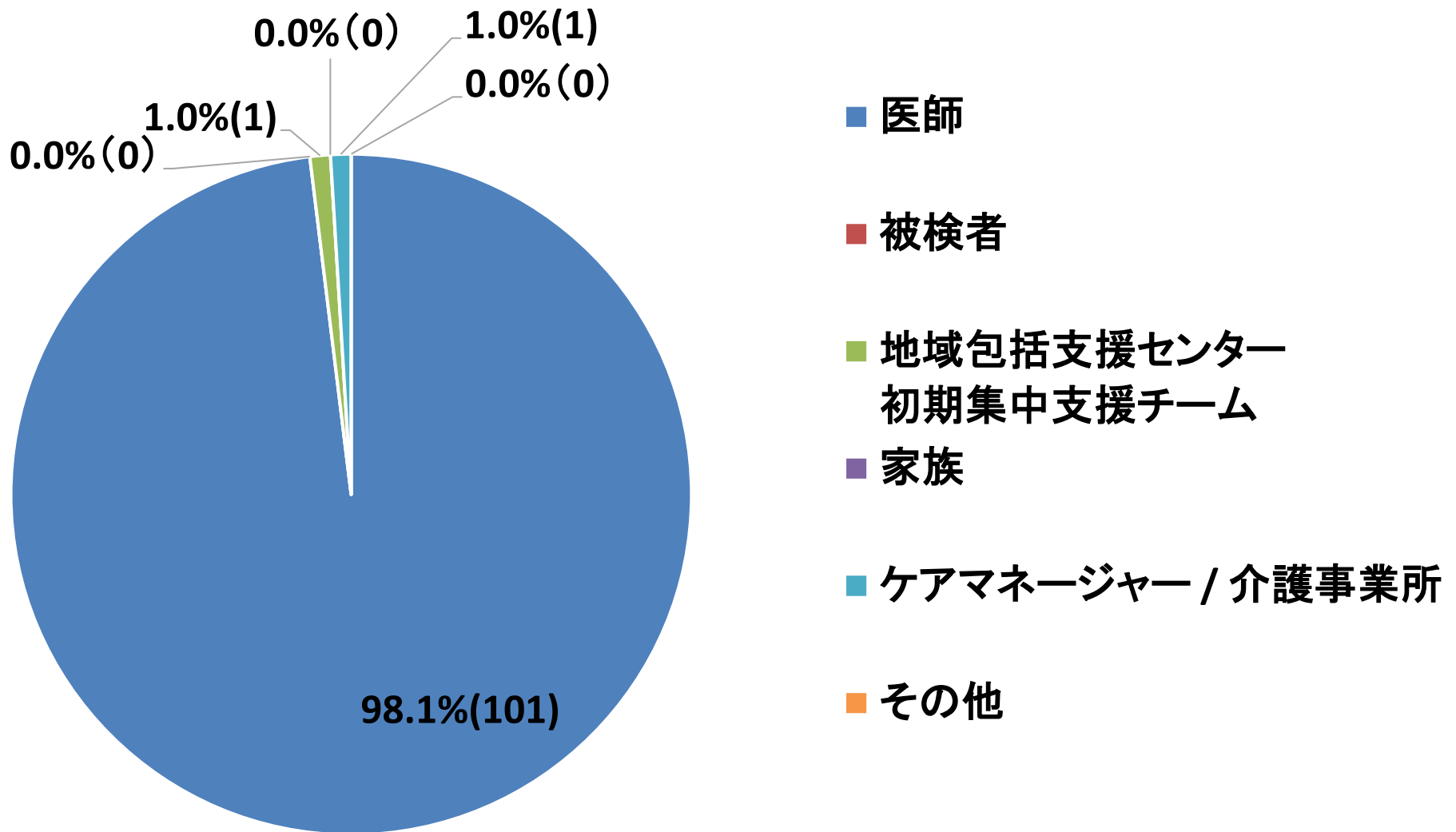
## ◇方法

- 三重県内のモデル地区(桑名市、木曾岬町、四日市市、朝日町、川越町、菰野町、鈴鹿市、津市、伊賀市、名張市、松阪市、多気町、大台町、明和町、伊勢市、玉城町、熊野市、紀宝町、御浜町)で事業を実施します。
- かかりつけ医からスクリーニングの依頼を受け、認知症連携パス推進員がITスクリーニングによる認知症機能評価を行います。
- 当センターの認知症専門医によるコメントをお返しし、認知症の早期発見・対応の判断資料として活用していただきます。
- 必要に応じて「みえる手帳」を病診連携・医福連携に活用するよう啓発活動を行います。

## ◇結果

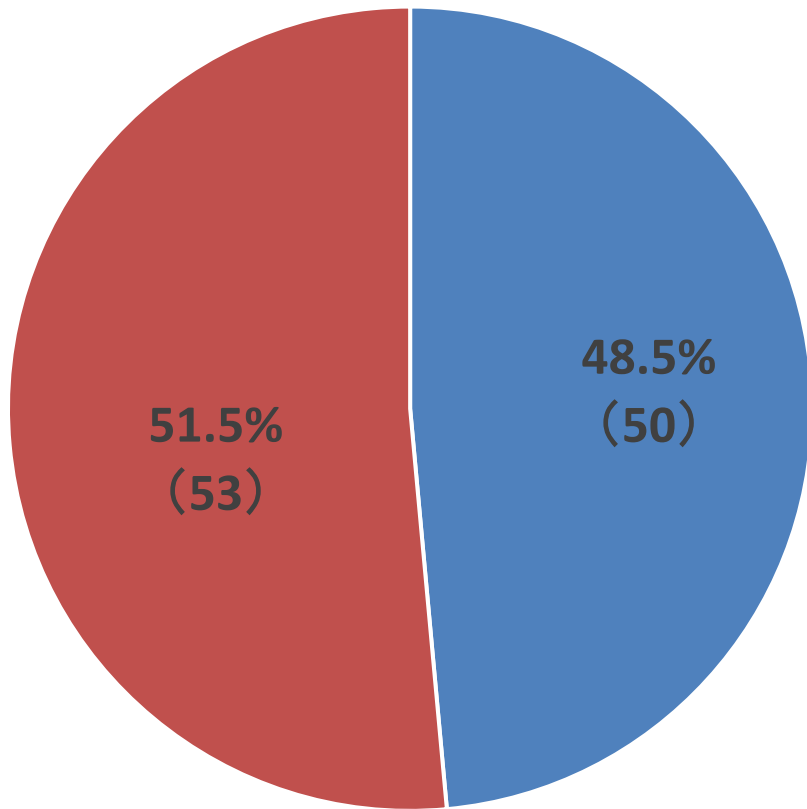
- スクリーニング実施数は103名で、医師からのスクリーニング希望が多くありました(98.1%)。
- 男女比は、男性48.5%、女性51.5%でした。
- 介護保険の要介護度は、未申請(80.6%)とお元気な方が多く、家族構成は配偶者と二人暮らし(53.4%)、もしくは同居家族のいる世帯(34.0%)が多かったです。
- BPSDがある方(31.1%)の内容は、易刺激性、焦燥、興奮、不安など初期から中期によく見られる症状が多かったです。
- スクリーニング結果は、52.4%の方が専門医療機関受診を推奨され、その内77.8%の方が、かかりつけ医から専門医療機関へ紹介されました。
- 専門医療機関での鑑別診断結果は、認知症の診断あり61.5%、軽度認知障害(MCI)5.1%、認知症は否定0.0%、その他及び不明は33.3%でした。

# スクリーニングの相談経路 (N=103)



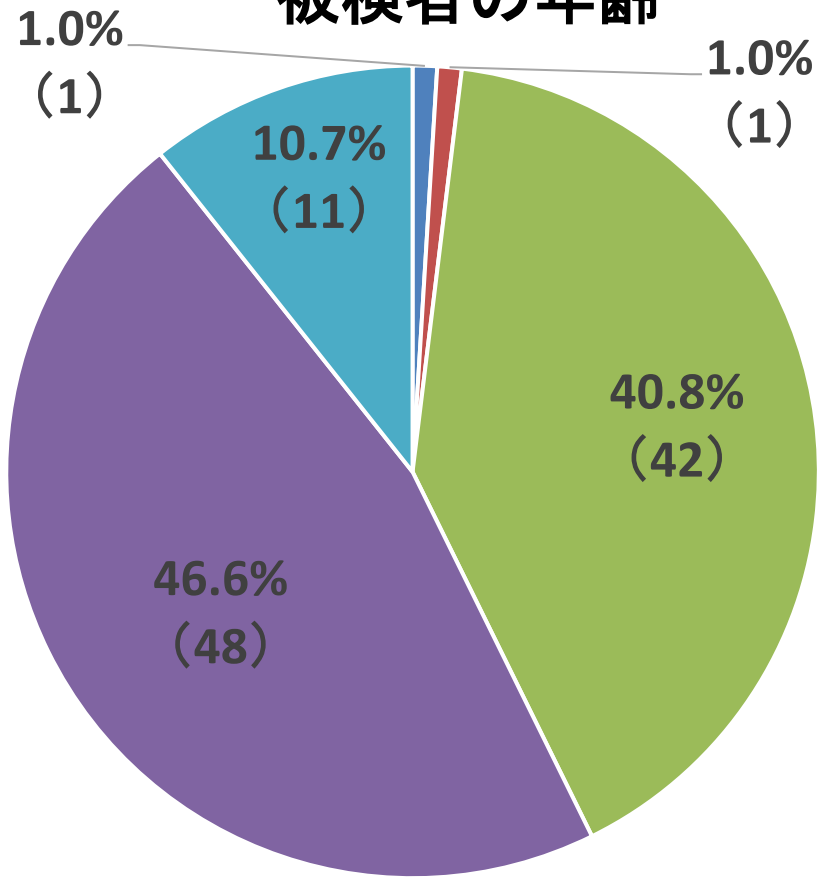
# 患者の性別と年齢 (N=103)

## 被検者の性別



■ 男 ■ 女

## 被検者の年齢

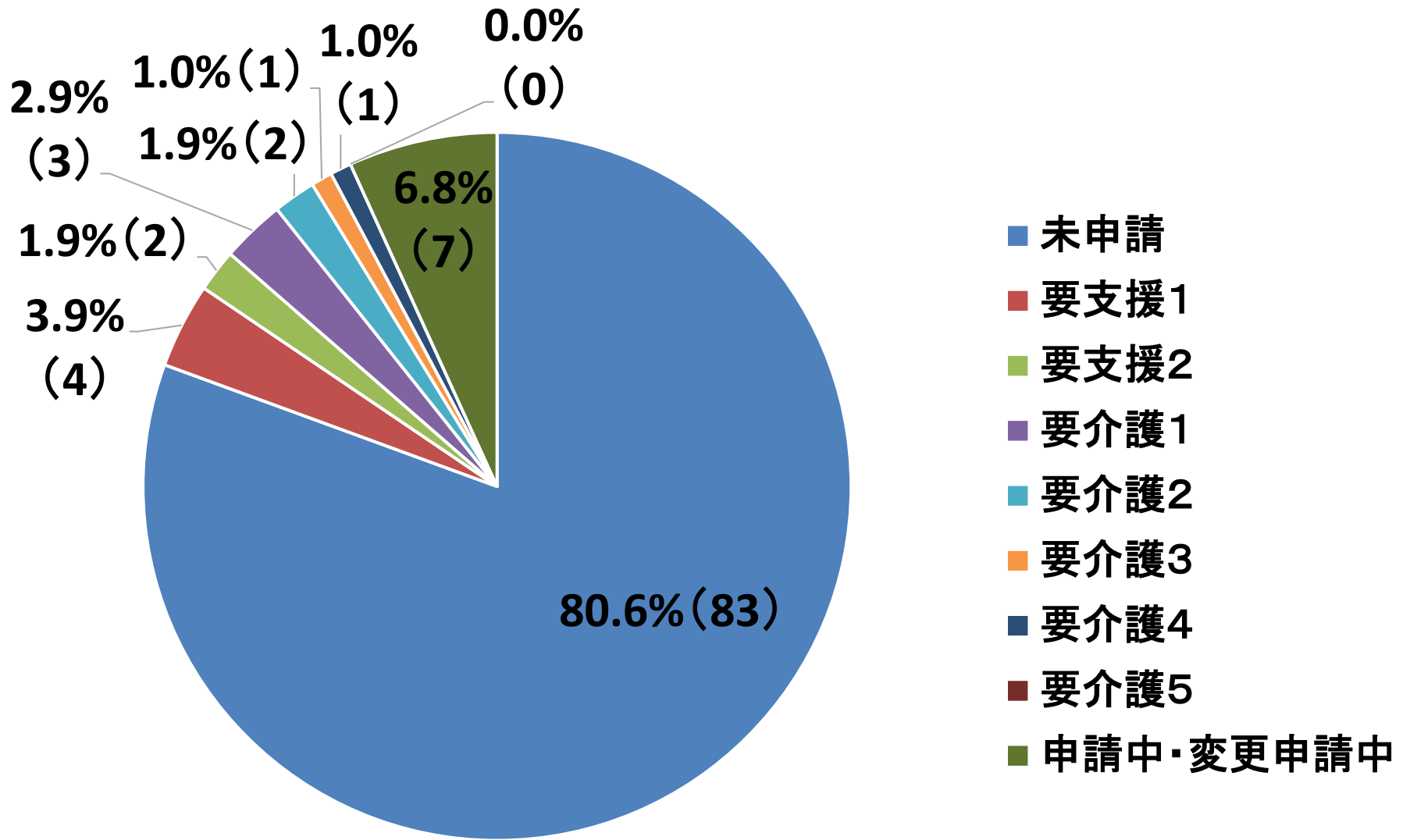


平均年齢 80.8±6.5

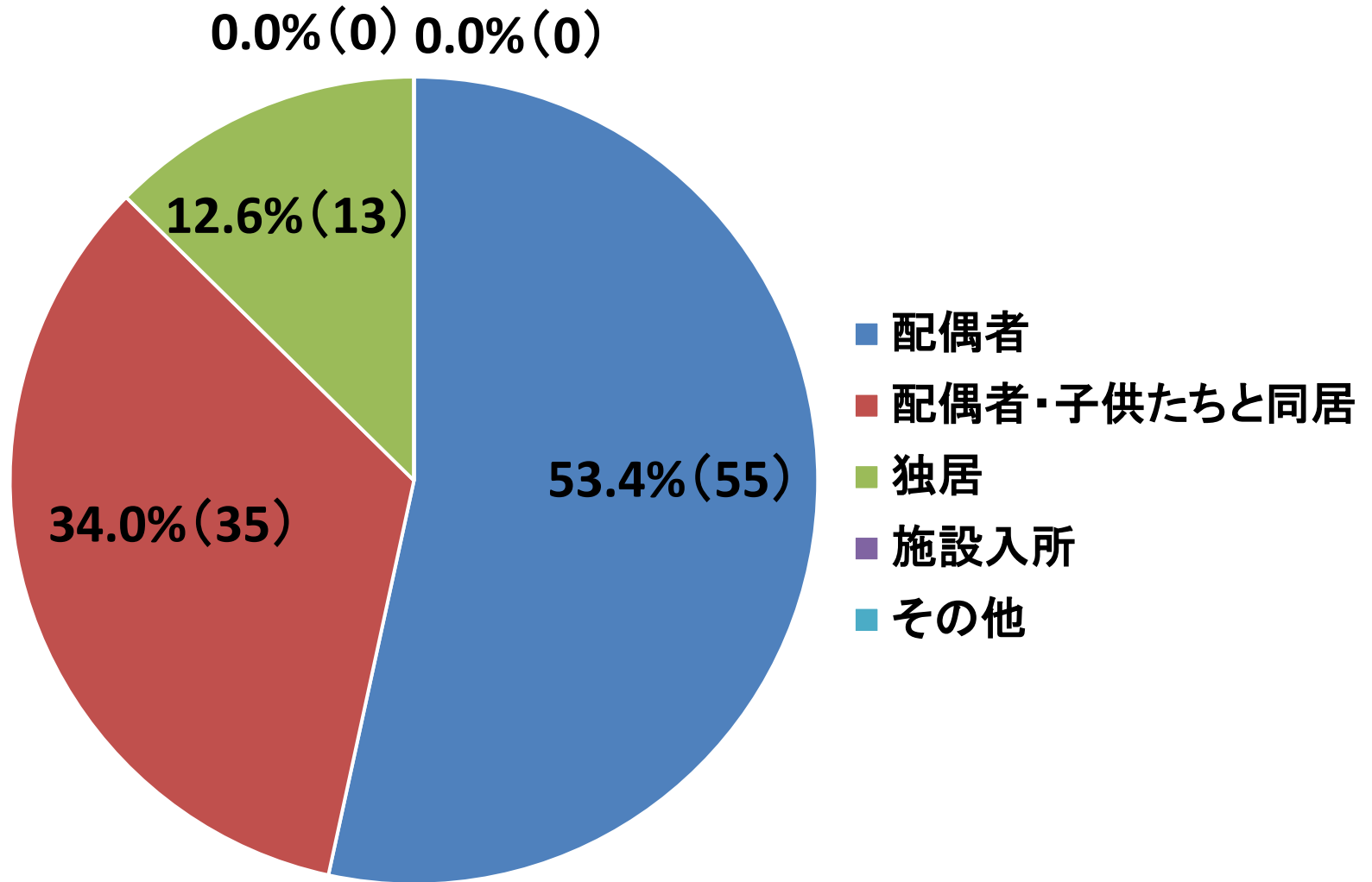
■ 64歳以下  
■ 70歳代  
■ 90歳以上

■ 65~69才以下  
■ 80歳代

# 患者の要介護度(N=103)

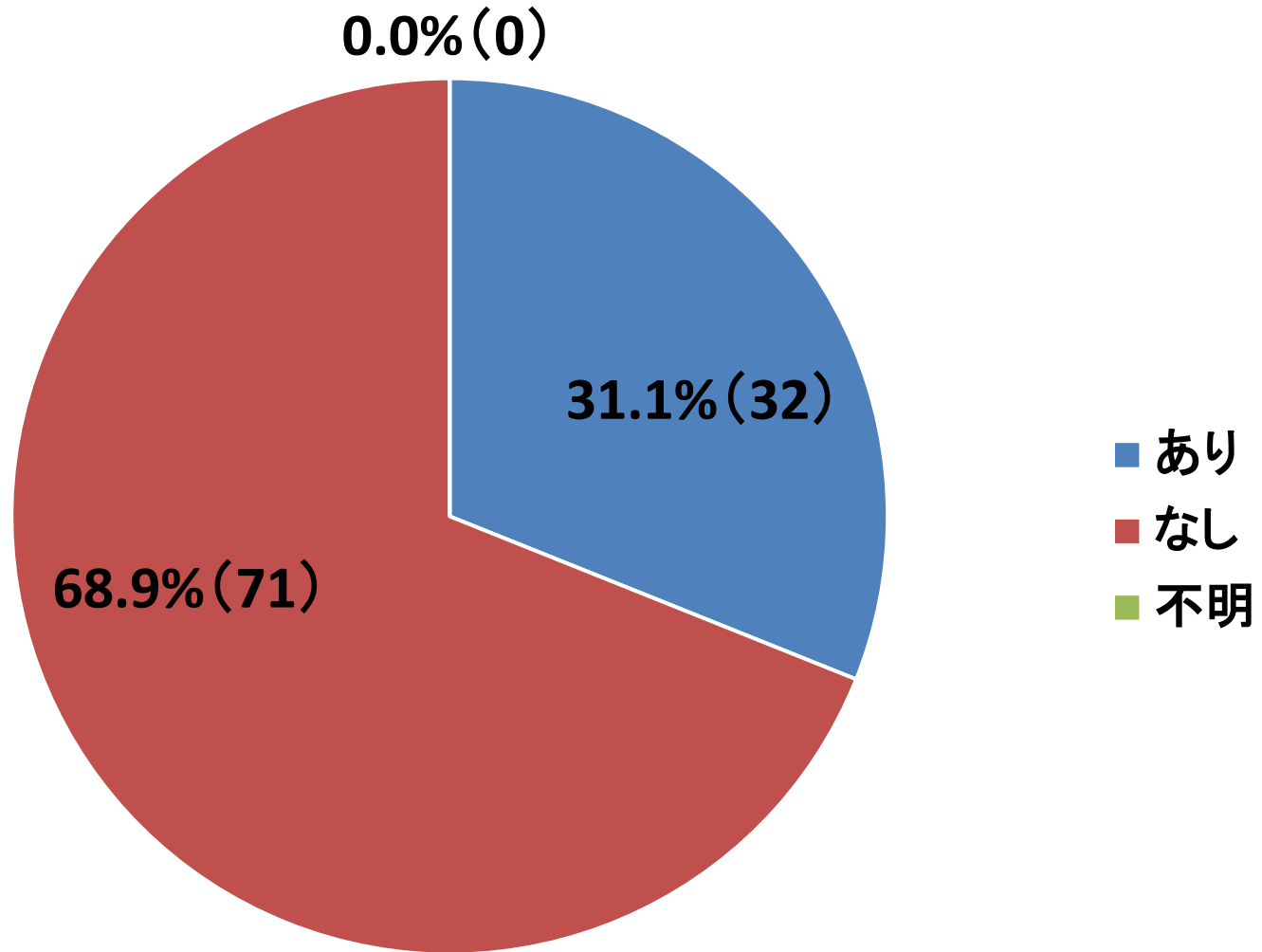


# 家族構成 (N=103)

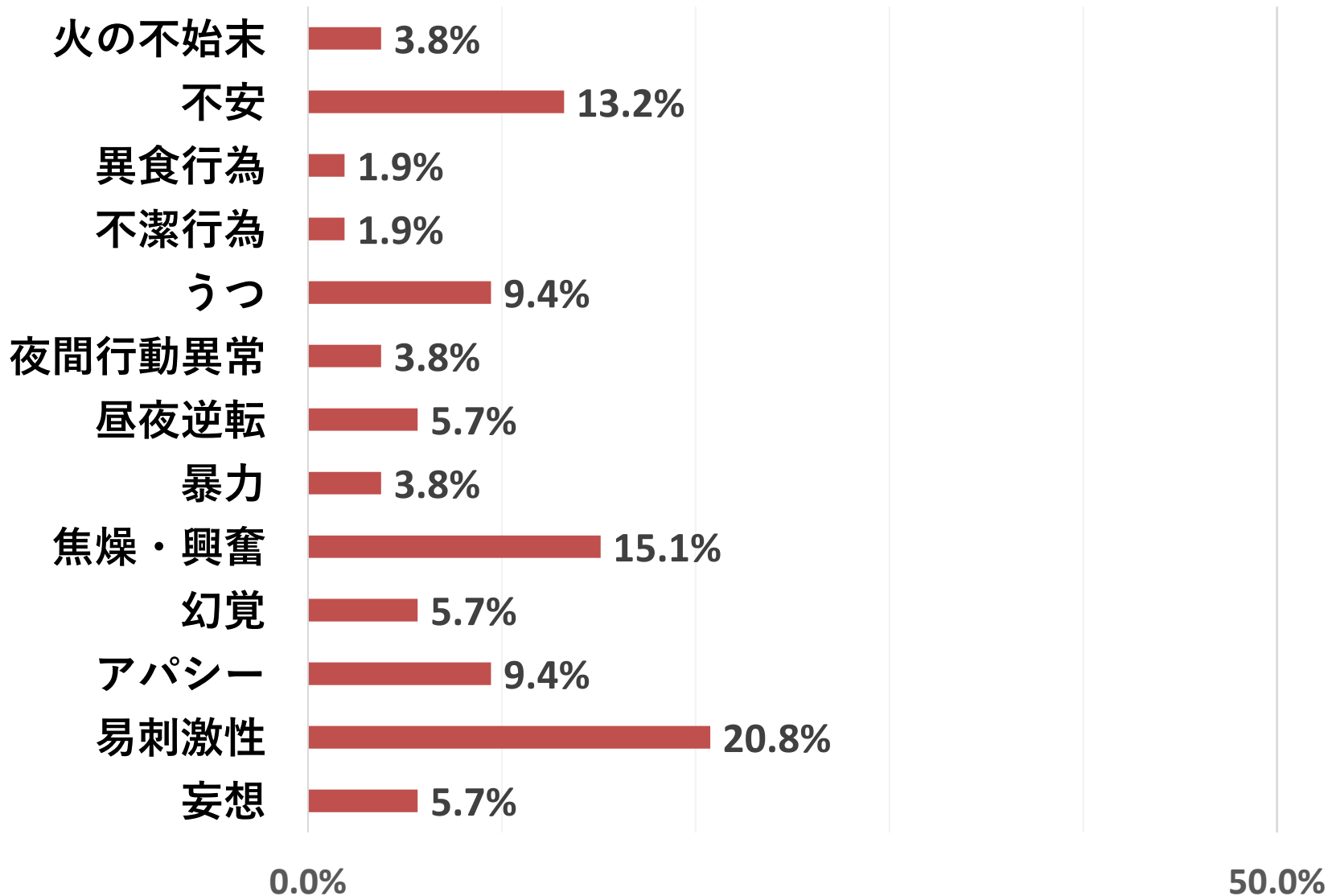




# BPSDの有無(N=103)



# BPSDの内容(%) (N=32) ※複数回答あり



※聞き取りで挙がった内容のみ掲載しています

# スクリーニング結果 平均得点 (N=90)

MMSE	23.2 ± 4.8
BFB	38.4 ± 8.3
AOS	32.4 ± 22.6
ADL(%)	94.5 ± 12.3

## <患者に対して実施する評価

>

◎ Mini Mental State Examination (MMSE)

→ カットオフ値 23/24

◎ Brain Function Battery (BFB)

→ カットオフ値 40/41

} 認知機能検査

## <介護者に対して実施する評価

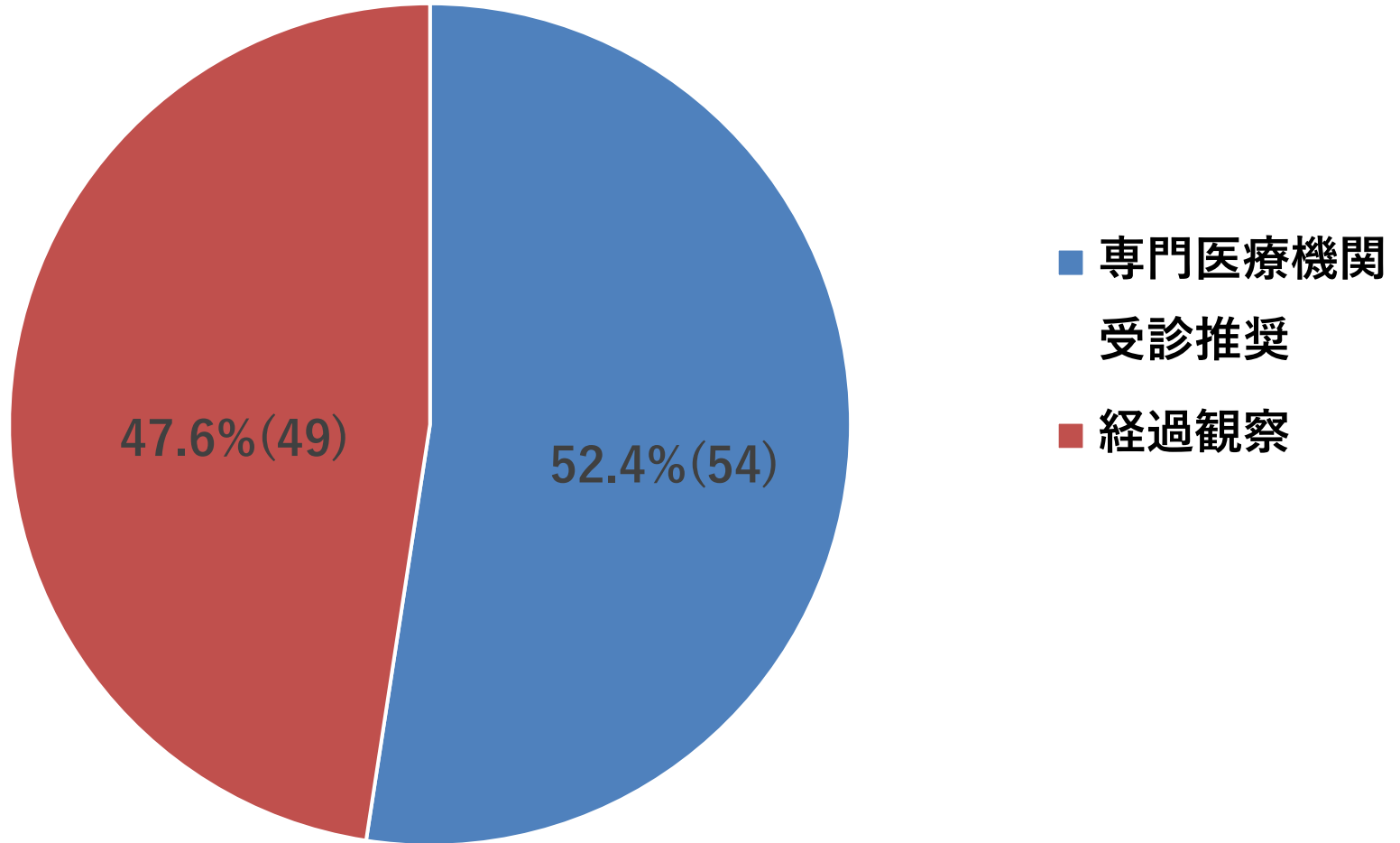
>

◎ Action Observation Sheet (AOS)

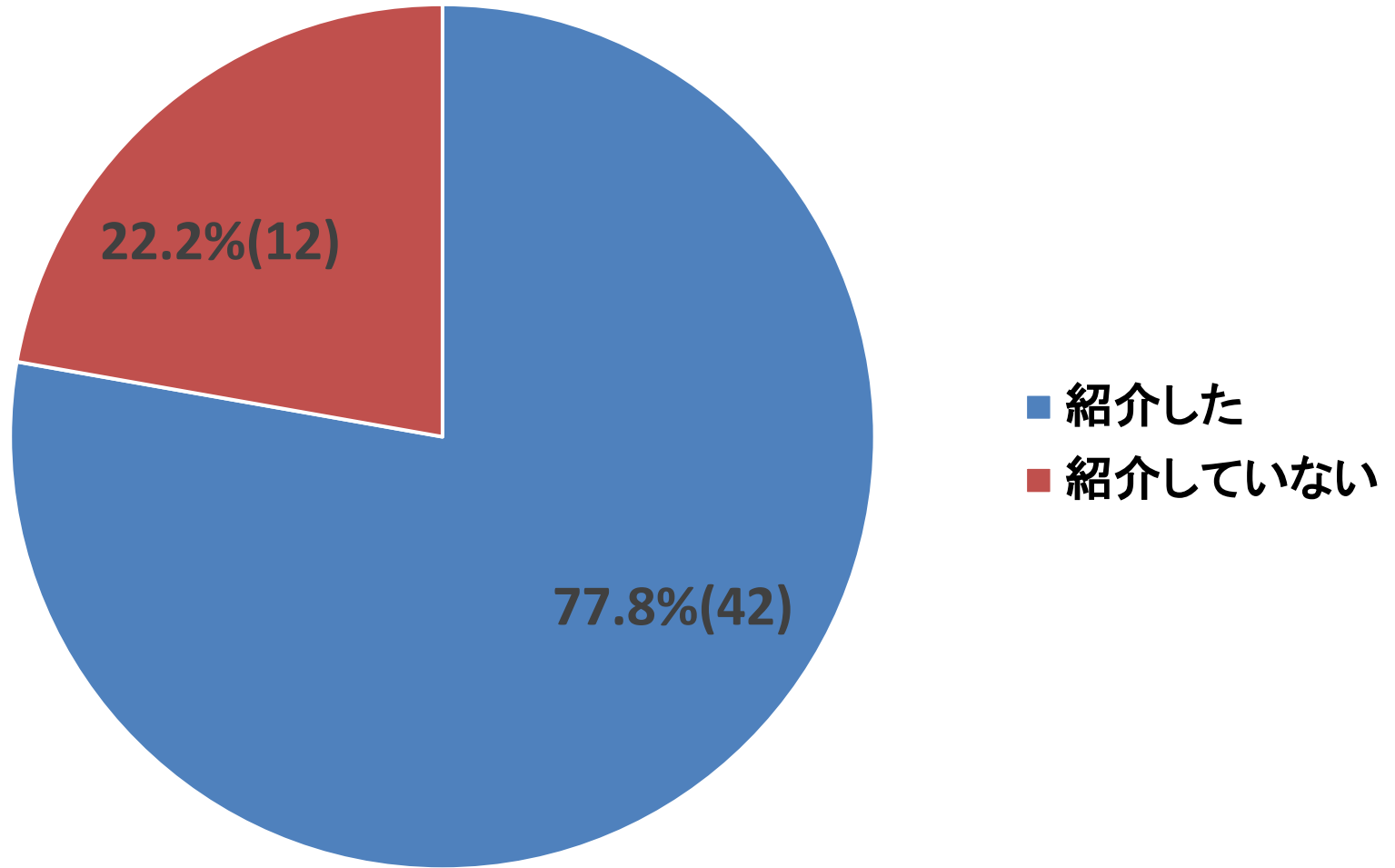
→ 9点以下; 正常/10~19点; 境界/20点以上; 認知症

} ADL、BPSD、  
日常生活の様子 等

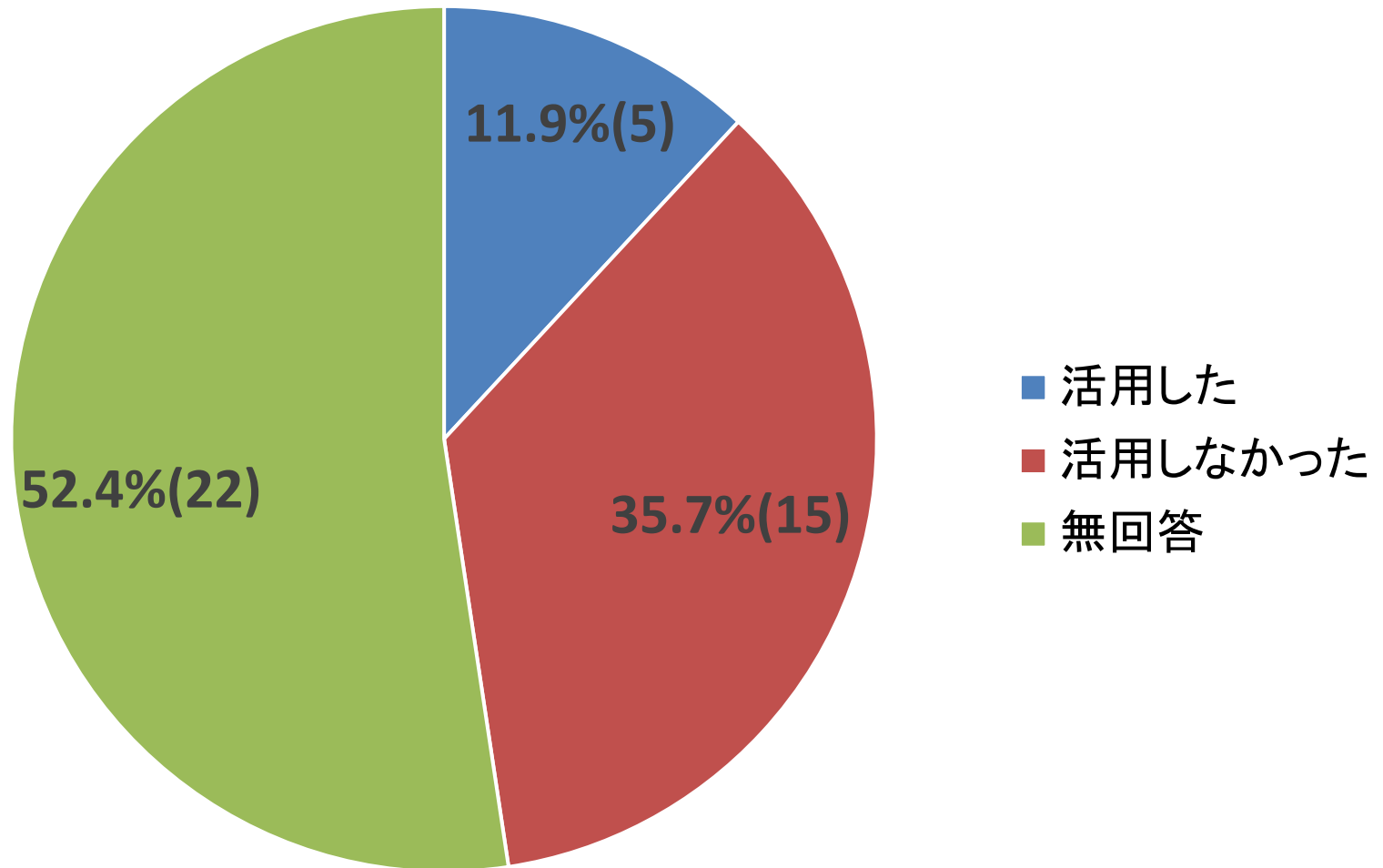
# コメント結果(N=103)



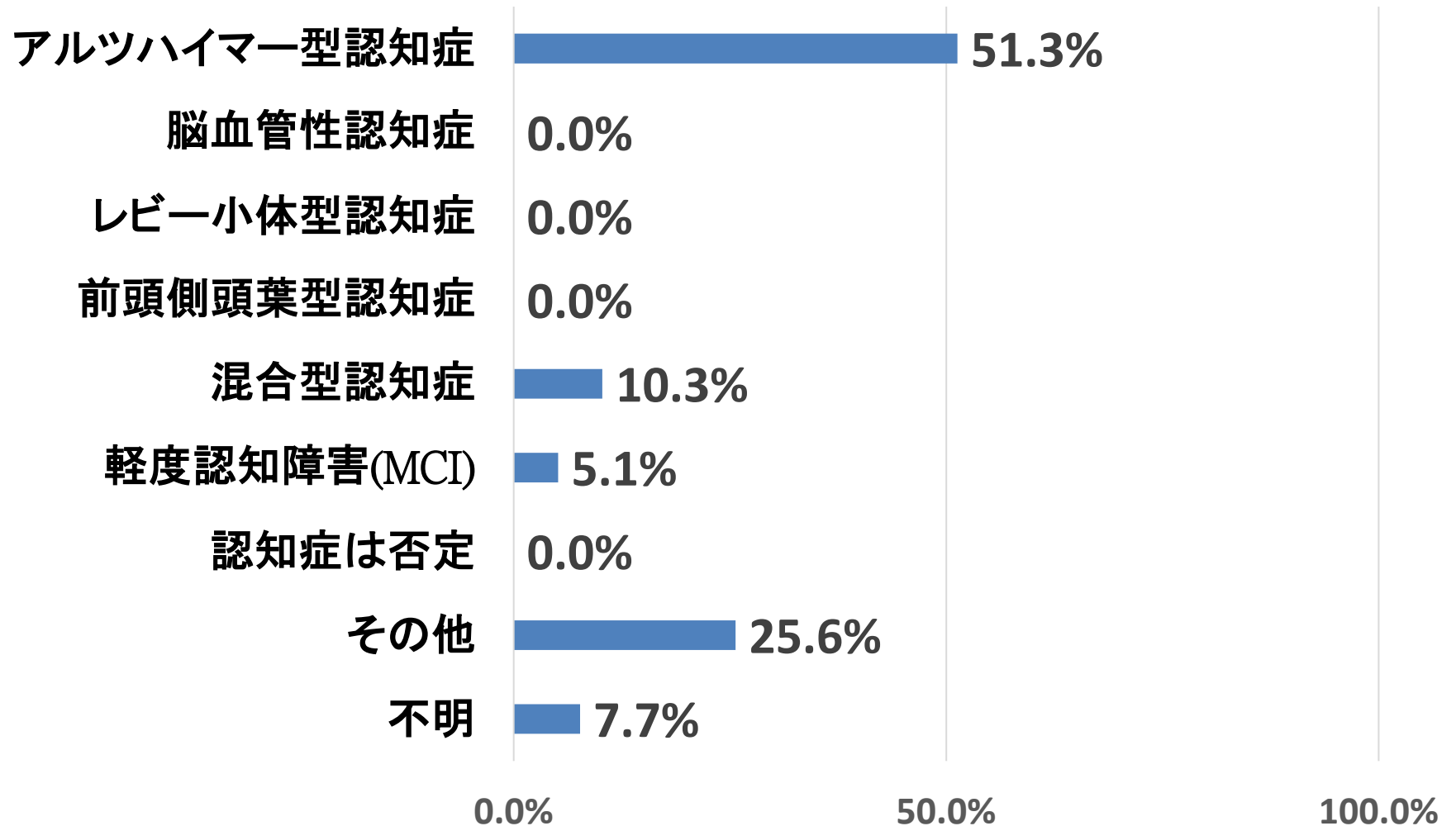
# 専門医療機関受診推奨群の紹介の有無(N=54)



# 専門医療機関紹介の際の 「みえる手帳」使用の有無(N=42)



# 鑑別診断結果(%)(N=39)



# ■2022年実績 まとめ

